

<その他の最近の報告>

KKE20a 「喫煙が創傷治癒と感染に及ぼす影響のメカニズム (レビュー)」

Sorensen LT等、Ann Surg. 2012 Jun;255(6):1069. PMID: 22566015

KKE20b 「喫煙は濾胞性リンパ腫の発症と関連する」

Gibson TM等、Cancer Causes Control. 2012 Nov 18. (Epub ahead) PMID: 23160945

KKE20c 「中国ではタバコを贈る習慣があり、好みの銘柄の一因にもなる」

Huang LL等、BMC Public Health. 2012 Nov 17;12(1):996. PMID: 23157697

KKE20d 「米国の9つの拠点空港における間接喫煙の調査結果」

CDC、MMWR Morb Mortal Wkly Rep. 2012 Nov 23;61:948. PMID: 23169316

KKE20e 「歯科衛生士の学生に禁煙支援の自信をつけさせる訓練法」

Brame JL等、J Dent Hyg. 2012;86(4):282. PMID: 23168103

【週刊タバコの正体】

2012/11

和歌山工業高校 奥田恭久

■Vol. 23

(No. 318) 第10話 心筋梗塞

(No. 313) 第11話 ヘレナ市

(No. 319) 第12話 脳梗塞

(No. 320) 第13話 COPD

URL: http://www.jascs.jp/truth_of_tobacco/truth_of_tobacco_2011.html

※週刊タバコの正体は日本禁煙学会のHPでご覧下さい。
 ※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。
 ※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。



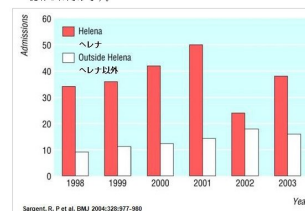
毎週火曜日発行



前回、タバコを吸うと「心筋梗塞」という怖い病気になる確率が高くなる事を紹介しました。タバコを吸うと血管にダメージを与えるのが、そもその原因だと説明も分かってもらえたのではないでしょうか。一見、タバコの煙が心臓の病気に関係するなんて、ちょっと想像しにくいと思いますが、案外スレートに影響するらしいのです。今回は、そんな実例を紹介いたします。

今から10年前、アメリカのモンタナ州ヘレナ市という人口約6万人の町で「心筋梗塞」の患者が減少したことがありました。下の集計表グラフがヘレナ市における心筋梗塞の入院患者を、白いグラフはヘレナ市周辺の入院患者を示しています。

白いグラフは毎年少し増加しながら大きな変化がないのに対し、集計グラフは2002年に急激に減っているのがわかりますね。これは、この年ヘレナ市では職場と公共の場所を禁煙にする条例が施行されたのです。



グラフをよく見て下さい、ヘレナ市を赤い集計グラフの2002年は前年の2001年の約半分です。この場所でタバコの煙がなくなるだけで、こんなに心筋梗塞の患者が減るといふことなのです。

条例が実施されたのは、この年の6月から2月までの半年間だけだったそうです。だから、翌年(2003年)には、心筋梗塞の患者が増えています。

ヘレナ市が禁煙条例になった間だけ、心筋梗塞の患者が減ったのだから、タバコが心筋梗塞と関係している事は明らかです。でも、どうして禁煙条例の実効が半年間で終わったかという、残念ながらタバコ会社の強反対を以て裁判所が条例の停止を命じたそうです。

とにかく、タバコの煙がなくなれば、たちまち心筋梗塞が減るといふ事を知っておいて下さい。そして、このことを家族や身近な人にも、ぜひ伝えてあげてください。



原案デザイン科 奥田 恭久